

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBI 全世界高配当株式ファンド（年4回決算型）（愛称：スマートベータ・世界高配当株式（分配重視型）」は、2025年2月20日に第1期決算を行いました。

当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本を含む世界各国の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

第1期末（2025年2月20日）

基準価額	10,789円
純資産総額	12,358百万円
第1期	
騰落率	8.8%
分配金（税込み）合計	95円

（注1）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

（注2）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。

（注3）当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しています。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「当該ファンド」を選択 ⇒ 「目論見書・定期レポート等」を選択 ⇒ 「運用報告書（全体版）」より該当の決算期を選択ください。

SBI 全世界高配当 株式ファンド （年4回決算型） （愛称：スマートベータ・世界 高配当株式（分配重視型））

追加型投信／内外／株式

交付運用報告書

第1作成期

第1期（決算日 2025年2月20日）

作成対象期間（2024年10月1日～2025年2月20日）

 SBI Asset Management

SBI アセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

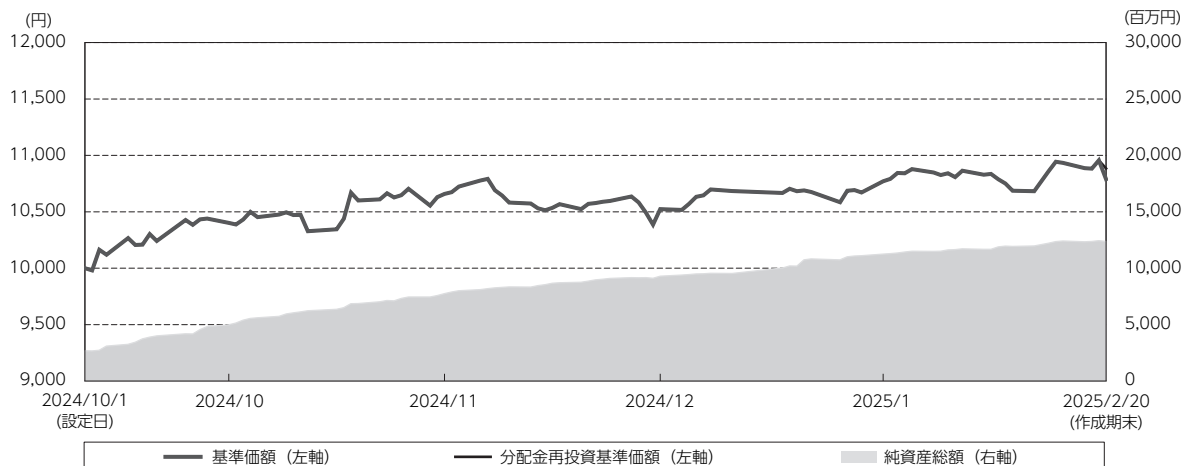
受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、
レポート等をご覧いただけます。
<https://www.sbiasset.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移

（2024年10月1日～2025年2月20日）



設 定 日：10,000円

第1期末：10,789円（既払分配金（税込み）：95円）

騰 落 率： 8.8%

- （注1）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。設定日（2024年10月1日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- （注2）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- （注3）当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本を含む世界各国の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

<SBI 米国高配当株式マザーファンド>

- ・米国金融政策の緩和への期待
- ・トランプ政権の新施策への期待

<SBI 欧州高配当株式マザーファンドⅡ>

- ・米国金融政策の緩和への期待
- ・欧州中央銀行（ECB）の利下げ、利下げへの期待
- ・中国の景気回復への期待
- ・ロシア、ウクライナ情勢の打開への期待、欧州域内の防衛費拡大への期待

< S B I 新興国高配当株式マザーファンド >

- ・ 米国金融政策の緩和への期待
- ・ ウクライナ情勢打開への期待

< S B I 日本高配当株式マザーファンド >

- ・ 米国金融政策の緩和への期待
- ・ 良好な米国大型ハイテク企業や一部の国内企業の決算、円安
- ・ 新たな少額投資非課税制度（NISA）の開始

下落要因

< S B I 米国高配当株式マザーファンド >

- ・ 米連邦準備制度理事会（FRB）の利下げ観測の後退、利下げペースの低下予想
- ・ トランプ政権の新施策への警戒感

< S B I 欧州高配当株式マザーファンドⅡ >

- ・ FRBの利下げ観測の後退、利下げペースの低下予想
- ・ 中国景気の低迷による世界的な需要不足への懸念
- ・ 欧州景気の先行き見通しの不透明感が強まったこと
- ・ 主要国を含めて既存与党の地位後退など政局の不安定化

< S B I 新興国高配当株式マザーファンド >

- ・ FRBの利下げ観測の後退、利下げペースの低下予想
- ・ トランプ政権の新施策への警戒感

< S B I 日本高配当株式マザーファンド >

- ・ FRBの早期利下げ観測の後退
- ・ 米新政権の関税政策への警戒感、円高
- ・ 中東情勢の緊迫化により、リスク回避が強まったこと

1万口当たりの費用明細

（2024年10月1日～2025年2月20日）

項 目	第1期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 2	% 0.022	(a)信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(1)	(0.007)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(1)	(0.007)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.007)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	18	0.169	(b)売買委託手数料＝作成期中の売買委託手数料÷作成期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(18)	(0.169)	
（ 投 資 信 託 証 券 ）	(0)	(0.000)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	10	0.091	(c)有価証券取引税＝作成期中の有価証券取引税÷作成期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(10)	(0.091)	
(d) そ の 他 費 用	5	0.050	(d)その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(4)	(0.039)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 ）	(1)	(0.007)	開示資料等の作成・印刷費用等
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	35	0.332	
作成期中の平均基準価額は、10,650円です。			

（注1）作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

（注2）消費税は報告日の税率を採用しています。

（注3）項目ごとに円未満は四捨五入しています。

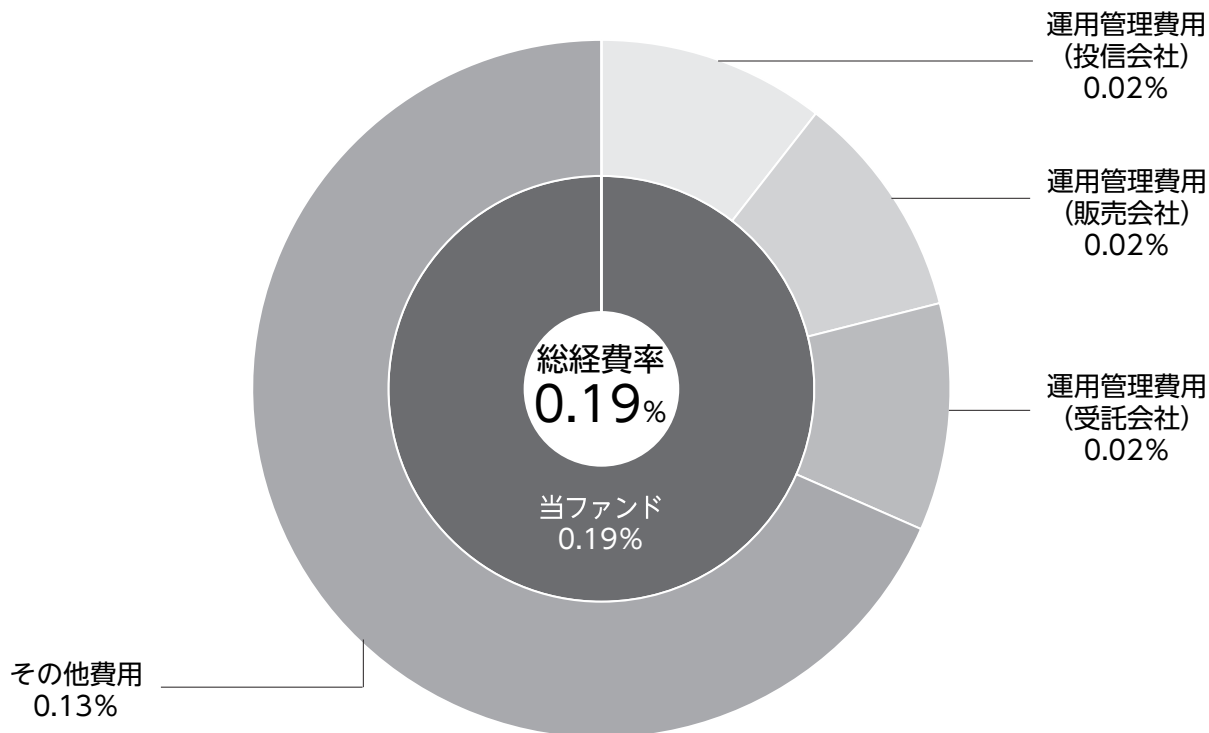
（注4）売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

（注5）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.19%です。



（注1）上記費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

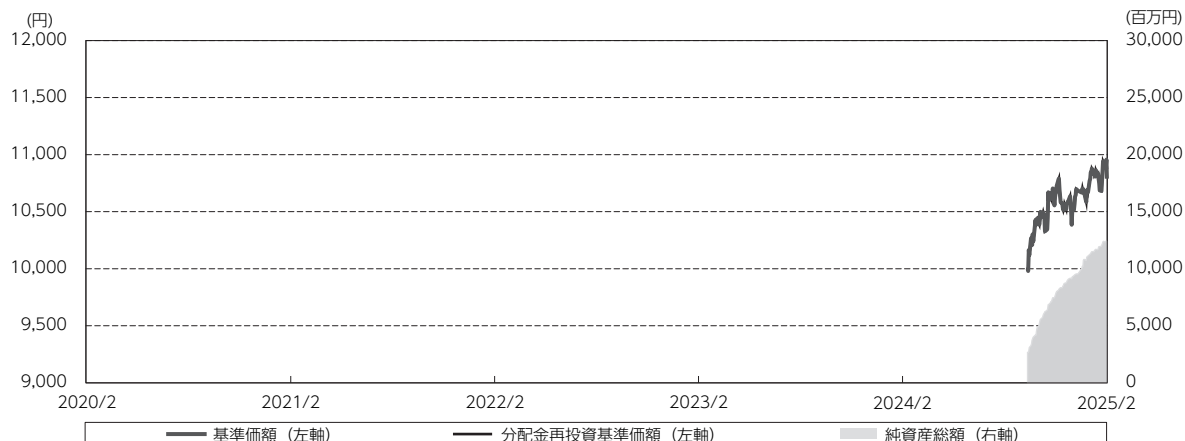
（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

（注4）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2020年2月20日～2025年2月20日）



- (注1) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ（2024年10月1日から2025年2月20日）のみの記載となっています。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。設定日（2024年10月1日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注3) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注4) 当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本を含む世界各国の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

	2024年10月1日 設定日	2025年2月20日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,789
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	95
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	8.8
純資産総額 (百万円)	2,674	12,358

- (注1) 当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本を含む世界各国の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。
- (注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しています。
- (注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2025年2月20日の騰落率は設定当初との比較です。

投資環境

（2024年10月1日～2025年2月20日）

<SBI 米国高配当株式マザーファンド>

当作成期の米国株は、米利下げ見通しとトランプ政権の新施策の消化の2つを中心に推移しました。利下げ見通しが強まればおおむねハイテク株が買われ、逆であれば売られる展開となりました。トランプ政権の新施策を巡っては、ヘルスケア関連株が売られたり買い戻されたり、エネルギー関連株や小売株にも同様の動きが見られました。当作成期のS&P500種指数は5,700台で始まり、上下しながら下値を上げる展開となり6,100台で作成期末を迎えました。セクターで見て、通信サービス、一般消費財・サービスが良く、素材、ヘルスケアなどが良くありませんでした。

<SBI 欧州高配当株式マザーファンドⅡ>

当作成期の欧州株は、中東情勢の悪化を受けて下げて始まりしました。米トランプ政権の関税政策、中国の景気回復遅延が悪材料となり、欧州中央銀行（ECB）の利下げ、中国の景気回復期待などが好材料となりました。フランス政局への不安などから11月と12月に調整局面が見られました。その後は、1月以降、停滞するロシア、ウクライナ情勢の打開への期待、欧州域内の防衛費拡大への期待などから、ドイツのDAX指数などが史上最高値を更新しました。ブルームバーグ欧州先進国市場500トータルリターン指数（ユーロ建て）で見て1,770近辺で始まり、1,880近辺で作成期末を迎えました。

セクターで見て、銀行、資本財・サービスなどが良く、不動産、公益、素材などが良くありませんでした。国別では、ドイツ、英国などのパフォーマンスが相対的に良くなりました。

<SBI 新興国高配当株式マザーファンド>

当作成期の新興国市場は、米国の利下げ期待の低下、トランプ政権による敵対的な関税政策の適用への懸念などから全体的に不芳でした。地域別に見ますと、トランプ政権によるウクライナでの戦争状態打開への期待から東欧、ハイテク株への期待から台湾などが良くなりました。一方、高値警戒感と利益確定売りからインドのパフォーマンスが相対的に悪化しました。セクターでは情報技術と金融が比較的堅調でしたが、消費財などが不芳でした。

<SBI 日本高配当株式マザーファンド>

設定当初は総選挙の与党過半数割れが重しとなりましたが、円安、米ハイテク株高により日本株は上昇しました。トランプ氏の大統領選勝利は、結局、同政権への警戒感を生じました。中盤以降、米利下げペースの鈍化懸念が重しとなりました。1月は、下旬のDeepSeekショックがマイナス材料となりました。2月に入り、米関税政策や円高／ドル安、米ハイテク株安などがマイナス材料となり神経質な推移となりました。TOPIX（終値）は2,690.78で始まり、好悪材料が交錯するなか概ね2,600から2,800でのレンジ推移となり、2,734.60で作成期末を迎えました。

セクター別では、金融、一般消費財・サービスが相対的に良く、ヘルスケア、資本財・サービスが悪くなりました。

当ファンドのポートフォリオ

（2024年10月1日～2025年2月20日）

<当ファンド>

マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として、日本を含む世界各国の株式に実質的に分散投資いたしました。作成期末の各マザーファンドの組入比率は、SBI米国高配当株式マザーファンドが60.0%、SBI欧州高配当株式マザーファンドⅡが19.6%、SBI新興国高配当株式マザーファンドが9.6%、SBI日本高配当株式マザーファンドが9.8%です。

<SBI米国高配当株式マザーファンド>

当作成期、当ポートフォリオは上昇しました。米金利引き下げ、ソフトランディング期待からウェルズファargo、ゴールドマン・サックス・グループなどの金融株、買収報道などからCSGシステム・インターナショナルなどが上昇し、パフォーマンスにプラスに寄与しました。一方、DeepSeekショックの影響を受けたクリーンエネルギー、中国での医薬品販売への不透明感などからメルク、電力のネクステラ・エナジー、インペリアル・ブランズ、などがマイナスに寄与しました。

当作成期は投資会社のエイリス・キャピタル、エネルギーインフラのシェニエール・エナジーなどの銘柄を追加しました。

当作成期、セクターでは、配当利回り水準等を勘案して、金融、エネルギーなどのウェイトを増やし、公益などのウェイトを減らしました。

<SBI欧州高配当株式マザーファンドⅡ>

当作成期、当ポートフォリオは上昇しました。ディフェンシブ性の評価されたインペリアル・ブランズ、AI関連セクターと分析されたSAP、東欧ビジネスへのアクセスが評価されたオーストリアのエアステ・グループ、BAWAGグループなどの金融グループがパフォーマンスにプラスに寄与しました。一方、減肥薬を巡り競争激化が懸念されたノボ・ノルディスク、米金利引き下げペースの低下など金融緩和ペースの鈍化観測などからポルトガル電力公社、テレフォニカなどの通信サービス株のマイナス寄与が大きくなりました。

当作成期はヘルスケアのGSK、化学のBASFなどの銘柄を追加しました。

当作成期、セクターでは、配当利回り水準等を勘案して、資本財・サービス、一般消費財・サービスなどのウェイトを増やし、ヘルスケア、銀行、公益、通信サービスなどのウェイトを減らしました。国別ではドイツ、フランスなどのウェイトを増やし、英国、スペインなどのウェイトを減らしました。

<SBI新興国高配当株式マザーファンド>

当作成期、当ポートフォリオは上昇しました。国内景気が比較的堅調であったことや好調な業績と先行きへの期待から、アブダビ・イスラミック銀行、SCB X、バンク・ポルスカ・カサ・オピエキなどの多くの金融機関がパフォーマンスにプラスに寄与しました。一方、国内景気への懸念などからヤンジョウ・エナジー・グループ、バンク・ラヤット・インドネシアなどが相対的にマイナスに寄与しました。

当作成期はペトロブラス、ギリシャ・ナショナル銀行、メディアテック（台湾）などの銘柄を追加しました。

当作成期、セクターでは、配当利回り水準等を勘案して、概ねウェイトを維持しました。国別では、台湾、メキシコ、ギリシャへの投資を開始しました、一方、韓国、中国、インドネシアなどのウェイトを減らしました。ブラジル、ポーランドなどのウェイトを増やしました。

<SBI日本高配当株式マザーファンド>

当作成期、当ポートフォリオは上昇しました。好業績や好ガイダンスからSBIホールディングス、フジクラ、みずほフィナンシャルグループなどがパフォーマンスにプラスに寄与しました。一方、市況低迷での業績不振からコスモエネルギーホールディングス、東欧リスクや煙害訴訟リスクなどから振るわなかった日本たばこ、金利、コスト上昇への懸念などから振るわなかった積水ハウスなどがマイナスに寄与しました。

当作成期は双日、しずおかフィナンシャルグループ、村田製作所、日本郵船などの銘柄を追加しました。

当作成期、セクターは、業績、配当利回り水準等を勘案して、金融、情報技術を増やし、資本財・サービス、不動産を減らしました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2024年10月1日～2025年2月20日）

当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本を含む世界各国の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

分配金

（2024年10月1日～2025年2月20日）

当作成期の分配金は、当ファンドの分配方針に基づき、基準価額水準や市況動向などを勘案し、下表の通りといたしました。

なお、分配にあてずに信託財産内に留保した収益につきましては、特に制限を定めず、運用の基本方針に基づき元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第1期
	2024年10月1日～ 2025年2月20日
当期分配金	95
（対基準価額比率）	0.873%
当期の収益	95
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	789

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<当ファンド>

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本を含む世界各国の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。

各マザーファンドによる株式への投資にあたっては、配当利回りに着目し、高水準のインカムゲインと中長期的な値上がり利益の獲得によるトータル・リターン追求をめざします。

各投資対象地域の投資にあたっては、それぞれの平均配当利回りが市場平均を上回るように銘柄の選定を行うことを基本とします。

各マザーファンドの投資配分比率については、随時、変更します。

実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行いません。

<SBI 米国高配当株式マザーファンド>

インフレ高止まり、好景気などから米利下げ見通しは後退しております。金融相場への期待が低下する一方、業績相場への期待が強まっている状況と考えられますので、より企業ごとの利益成長が注目されると考えます。引き続き、米国の高配当利回りの組入を中心として、配当利回りの上昇、増配が期待される銘柄へも投資し、インカムゲイン（分配）の獲得に加えて株価上昇（成長）も獲得したいと考えております。

<ＳＢＩ欧州高配当株式マザーファンドⅡ>

インフレ高止まり、好景気などから米利下げ見通しは後退しております。欧州では、欧州中央銀行（ECB）が１月の理事会で連続利下げを実施しました。インフレ鈍化と景気低迷を受け、さらなる利下げが期待されております。目下、ECBの利下げのインパクトが注目されております。また、今後予想される中国の景気刺激策による株価への影響も注目されています。一方、トランプ関税、ウクライナ戦争の行方などが懸念材料となっております。足元、欧州の景気回復や防衛関連支出の増大を期待する資金の流入などから欧州株式は比較的堅調に推移しております。私どもは、引き続き、欧州の高配当利回りの組入を中心として、GRANOLAS*など成長性の高い、増配が期待される銘柄などへも投資し、インカムゲイン（分配）の獲得に加えて株価上昇（成長）も獲得したいと考えております。

※GRANOLAS

欧州株式市場の上昇の牽引役と目される、高く安定した成長性、強固な財務基盤、良好な配当利回りなどを特徴とする11企業。GlaxoSmithKline(医薬品、イギリス)、Roche Holding AG (医薬品、スイス)、ASML Holding NV (半導体製造装置、オランダ)、Nestle SA(食品、スイス)、Novartis AG(医薬品、スイス)、Novo Nordisk A/S(医薬品、デンマーク)、L' Oreal S.A. (化粧品、フランス)、LVMH Moët Hennessy Louis Vuitton SA (高級品、フランス)、AstraZeneca PLC (医薬品、イギリス)、SAP SE (ソフトウェア、ドイツ)、Sanofi (医薬品、フランス) を指します。

<ＳＢＩ新興国高配当株式マザーファンド>

インフレ高止まり、好景気などから米利下げ見通しは後退しております。一方、欧州では、欧州中央銀行（ECB）が１月の理事会で連続利下げを実施しました。インフレ鈍化と景気低迷を受け、さらなる利下げが期待されております。今後予想される中国の景気刺激策による株価への影響も注目されています。私どもは、引き続き、新興国市場の高配当銘柄中心の投資を行い、成長の追求、分配の追求をめざしてまいります。

<ＳＢＩ日本高配当株式マザーファンド>

トランプ政権の関税政策など新施策の発表により、市場のイベントリスクは大きく上昇し、市場を取り巻く環境の変動性、不確実性、複雑性、曖昧性が高まっております。このような環境下、私どもは、収益性に優れ、しっかりとした配当政策を有する企業への投資を行うことで、インカムゲインの獲得とともに、中長期的なパフォーマンスにつなげたいと考えております。

お知らせ

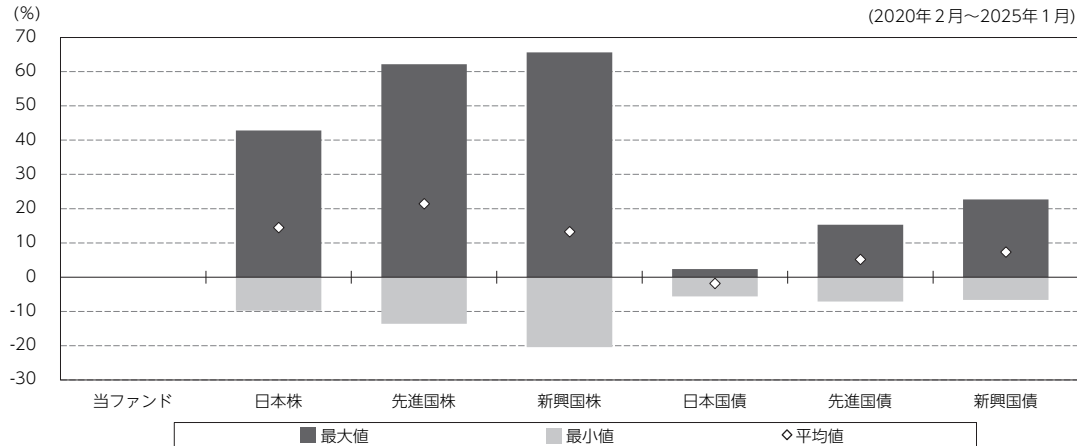
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／株式	
信 託 期 間	無期限（設定日：2024年10月1日）	
運 用 方 針	当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド (ベビーファンド)	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	< S B I 米国高配当株式マザーファンド > 米国の株式を主要投資対象とします。 < S B I 欧州高配当株式マザーファンドⅡ > 欧州の株式を主要投資対象とします。 < S B I 新興国高配当株式マザーファンド > 新興国の株式を主要投資対象とします。 < S B I 日本高配当株式マザーファンド > 日本の株式を主要投資対象とします。
運 用 方 法	当ファンド (ベビーファンド)	マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として、日本を含む世界各国の株式に実質的に分散投資します。
	マザーファンド	< S B I 米国高配当株式マザーファンド > 主として米国の株式に投資し、中長期的に信託財産の成長をめざして運用を行います。 < S B I 欧州高配当株式マザーファンドⅡ > 主として欧州の株式に投資し、中長期的に信託財産の成長をめざして運用を行います。 < S B I 新興国高配当株式マザーファンド > 主として新興国の株式に投資し、中長期的に信託財産の成長をめざして運用を行います。 < S B I 日本高配当株式マザーファンド > 主として日本の株式に投資し、中長期的に信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。
分 配 方 針	年4回（2月、5月、8月ならびに11月の各20日。ただし、休業日の場合は翌営業日）決算を行い、原則として以下の方針に基づいて収益の分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分も含めた経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）および売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額とします。）等の全額とします。収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を定めず、運用の基本方針に基づき元本部分と同一の運用を行います。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	－	42.8	62.2	65.6	2.4	15.3	22.7
最小値	－	△ 9.8	△ 13.6	△ 20.4	△ 5.6	△ 7.1	△ 6.6
平均値	－	14.5	21.4	13.3	△ 1.8	5.1	7.3

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2020年2月から2025年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては、直近1年間の騰落率データがないため掲載していません。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《代表的な各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式指数

先進国株…Morningstar 先進国株式指数（除く日本）

新興国株…Morningstar 新興国株式指数

日本国債…Morningstar 日本国債指数

先進国債…Morningstar グローバル国債指数（除く日本）

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債指数

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て税引前利子・配当込み指数です。

*各指数についての説明は、P18の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2025年2月20日現在)

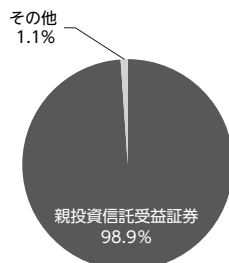
○組入上位ファンド

銘 柄 名	第1期末
	%
SBI 米国高配当株式マザーファンド	60.0
SBI 欧州高配当株式マザーファンドⅡ	19.6
SBI 日本高配当株式マザーファンド	9.8
SBI 新興国高配当株式マザーファンド	9.6
組入銘柄数	4銘柄

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

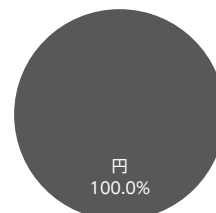
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しています。

(注3) 国別配分の比率はマザーファンドの評価額に対する割合です。

純資産等

項 目	第1期末
	2025年2月20日
純 資 産 総 額	12,358,166,272円
受 益 権 総 口 数	11,454,279,203口
1万口当たり基準価額	10,789円

(注) 作成期中における追加設定元本額は10,659,957,205円、同解約元本額は1,879,699,672円です。

組入上位ファンドの概要

SBI 米国高配当株式マザーファンド

初回決算日（2025年8月20日）を迎えていないため、記載すべき情報はございません。

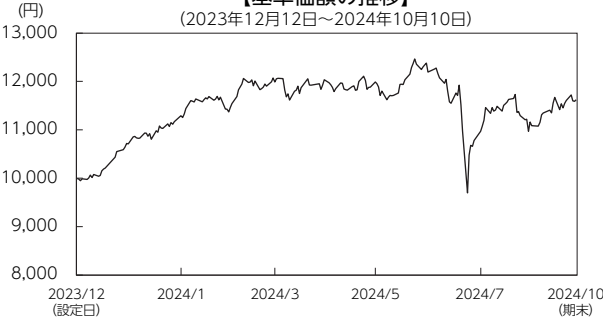
S B I 欧州高配当株式マザーファンドⅡ

初回決算日（2025年8月20日）を迎えていないため、記載すべき情報はありません。

SBI 日本高配当株式マザーファンド

【基準価額の推移】

(2023年12月12日～2024年10月10日)



【1万口当たりの費用明細】

(2023年12月12日～2024年10月10日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料	3円	0.026%
(株式)	(3)	(0.026)
(投資信託証券)	(0)	(0.001)
合計	3	0.026
平均基準価額は、11,598円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては、P3をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

(2024年10月10日現在)

	銘柄名	業種／種別等	通貨	国 (地域)	比率
					%
1	SANKYO	機械	円	日本	3.9
2	ソフトバンク	情報・通信業	円	日本	3.6
3	日本たばこ産業	食料品	円	日本	3.5
4	西松建設	建設業	円	日本	3.2
5	長谷工コーポレーション	建設業	円	日本	3.1
6	コスモエネルギーホールディングス	石油・石炭製品	円	日本	2.9
7	野村不動産ホールディングス	不動産業	円	日本	2.7
8	丸井グループ	小売業	円	日本	2.7
9	いすゞ自動車	輸送用機器	円	日本	2.7
10	シチズン時計	精密機器	円	日本	2.6
組入銘柄数			79銘柄		

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

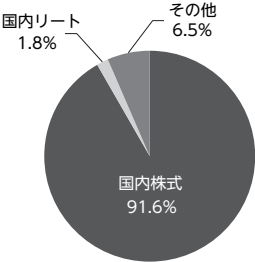
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注3) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

【資産別配分】

【国別配分】

【通貨別配分】



(注1) 比率は当マザーファンドの純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

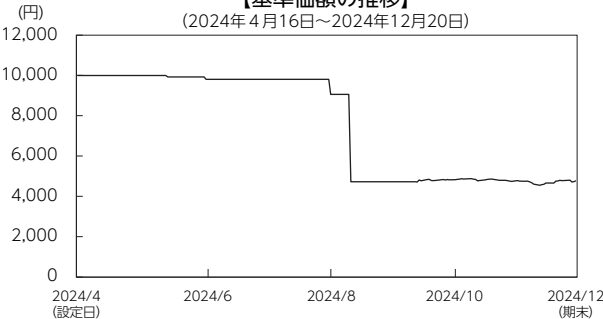
(注3) 資産別配分、国別配分、通貨別配分は小数点第2位で四捨五入しているため、合計が100%に満たない場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照下さい。

S B I 新興国高配当株式マザーファンド

【基準価額の推移】

(2024年4月16日～2024年12月20日)



【1万口当たりの費用明細】

(2024年4月16日～2024年12月20日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	74円 (74)	1.016% (1.016)
(b) 有価証券取引税 (株式)	14 (14)	0.198 (0.198)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	14 (14) (0)	0.194 (0.192) (0.003)
合計	102	1.408
平均基準価額は、7,303円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては、P3をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

(2024年12月20日現在)

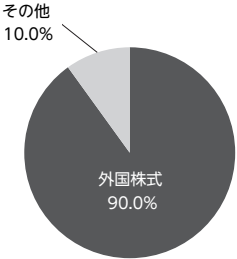
銘柄名	業種／種別等	通貨	国 (地域)	比率
1 SCB X PCL-NVDR	銀行	タイ・バーツ	タイ	4.6%
2 ABU DHABI ISLAMIC BANK	銀行	UAE・ディルハム	アラブ首長国連邦	4.3
3 ABSA GROUP LTD	銀行	南アフリカ・ランド	南アフリカ	4.2
4 ASTRA INTERNATIONAL TBK PT	資本財	インドネシア・ルピア	インドネシア	3.7
5 AGILITY	運輸	クウェート・ディナール	クウェート	3.6
6 SK TELECOM	電気通信サービス	韓国・ウォン	韓国	3.6
7 EMIRATES NBD PJSC	銀行	UAE・ディルハム	アラブ首長国連邦	3.4
8 INDUSTRIAL BANK OF KOREA	銀行	韓国・ウォン	韓国	3.3
9 BB SEGURIDADE PARTICIPACOES	保険	ブラジル・リアル	ブラジル	3.3
10 NEDBANK GROUP LTD	銀行	南アフリカ・ランド	南アフリカ	3.2
組入銘柄数		30銘柄		

(注1) 比率は、純資産総額に対する割合です。

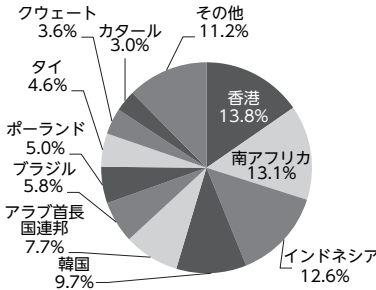
(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注3) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

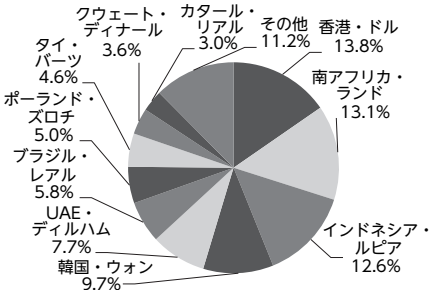
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注1) 比率は当マザーファンドの純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注3) 資産別配分、国別配分、通貨別配分は小数点第2位で四捨五入しているため、合計が100%に満たない場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照下さい。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

<各指数の概要>

- 日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- 先進国株：Morningstar 先進国株式指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- 新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc.が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- 日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- 先進国債：Morningstar グローバル国債指数（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

<重要事項>

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はモーニングスター・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。